

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスいもむしクラブ				公表日	2024	年	12	月	25	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点						
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		デッドスペースが無いようにレイアウト	より安全性を考慮して改善中				
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		10		勤務シフトで管理	プログラムに対しては職員以外に専門的なインストラクターや指導者に来てもらっている						
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	2	事業所の場所が2階、エレベーターなしなので利用時ご理解をいただいている							
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		10		消毒等日々のルーティーンとしている							
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	2	クールダウンできるようにしている							
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3	日々情報共有できるようにしている	時間の取り方が利用者の状況で変わるので苦労している						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		公表、連絡をしている	常に心掛けている						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		研修、話し合いの機会を設けている	共有に向けての						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		放デイ単体の事業の中で悩んでいる						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		隔月で行なっている							
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	5	お知らせや連絡で	準備中近日中に公表						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10									
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		研修等で共通理解を図り支援の共有に努めている							
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		支援計画について共有できるよう打ち合わせを行っている	シフトによって打ち合わせの時間がとりにくい時の工夫						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	5	インテークに沿ったケースが多い	インフォーマルなアセスメントを使いつつある						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			近日中に公表						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		話し合いの中で計画	今年度からチームで行っている						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		指導員のスキルを活かす、地域活動への参加等常に心掛けている							

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	3		今後の課題も多々
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		日々支援の共有と打ち合わせを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			振り返りについては時間調整をしてゆく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		記録は欠かさず行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的にモニタリングは行い、個別支援計画の見直しを行っている	モニタリングの内容を検討してゆく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		毎日の予定は利用者がわかるように掲示	報酬改定後、今までの支援を見直し、近日常に公開
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		支援内容の中で自己決定できる時間を設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			準備はできているので機会を見てやりたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		学校の情報については親御さんからいただくことがほとんどだが、学校行事など積極的に参加し、先生たちとの交流・情報交換に努めている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3		出来るところとできにくいところがある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		求められればいつでも提供	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3	適宜している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		常に意識し計画の中に入れるようにしている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		参加する用意はいつでもある	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡は密にしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	情報提供に努めている	家族参加のタイミングの検討
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		子ども達の話し合いの機会を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		常に行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	仕事を持っている親御さんが多いなか参加が難しい方が多く苦慮	出来るだけ多くの方が利用できる機会を検討
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		いつでもどんな時でもの対応をしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月発行いもむし通信とメールでのお知らせ	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		秘密保持契約をし、必要な契約であることを認識してもらっている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		日々の支援の中での工夫を共有	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		呼びかけはしている	今後も努力してゆく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		年2回実施	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		フェイスシートなどから面談で確認	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		医師の指示書等あればその指示に従う	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全管理については機会をとらえて話しあっている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		お知らせはしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		研修は定期的に行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		今まで経験がないことだが計画には入れている	利用者の特質をふまえた支援をしている	